

学校法人國學院大學 DX 推進プラン

1. 実現へ向けてのアクション

- ①中期5ヵ年計画の実現を支援することを目標とし、体系的なデジタル化の推進によって、法人全体を通じた ICT 関連の運用・管理等を担う。
- ②創立 150 周年に向け、法人が掲げた“法人組織・仕組みの強化”に即して、「デジタル」を活用した法人内連携を進め、法人組織の改革と強化を図る。
- ③“教育研究環境の充実”のために、DXを推進することによって「時間」を創出し、「アナログ」をさらに有効活用できる諸環境の整備と充実を図る。

○最優先・最重要課題

| | | |
|------|----|------------------------------------|
| 人材育成 | 教員 | 従来の教育・研究・学生対応から ICT を活用した対応への順応性向上 |
| | 職員 | IT 人材の育成⇒能力別スキルマネジメント |
| | 学生 | 高度 IT リテラシーの向上と人文系総合大学における情報教育の習熟 |

○教育

○情報教育

- ・数理・データサイエンス・AI 教育の充実
- ・基本スキルの習熟と高度 IT リテラシーの教授

○ICT による教育支援

- ・学修ポートフォリオ、LMS 等の導入と活用
- ・オンデマンド、ハイフレックスの有効活用

○研究

○研究管理

- ・適切な研究費管理と運用
- ・研究費確保に向けた研究支援の体制構築

○知的財産

- ・研究成果のデジタル化による管理と積極的公開
- ・保有資産、知的財産の保護

○施設・学生生活

○施設

- ・ネットワーク等 ICT 利用環境の再構築
- ・PC 利用環境の利便性向上と高度化

○環境整備

- ・学生証移行等から新しい学内環境の整備
- ・スマートキャンパス構想

○業務

○組織

- ・IT 活用による組織の再編
- ・IT 人材育成とタレントマネジメント

○持続性・永続性

- ・製品導入と内製化による費用対効果の向上
- ・確実な業務フローと持続性・永続性の担保

○情報公開・IR

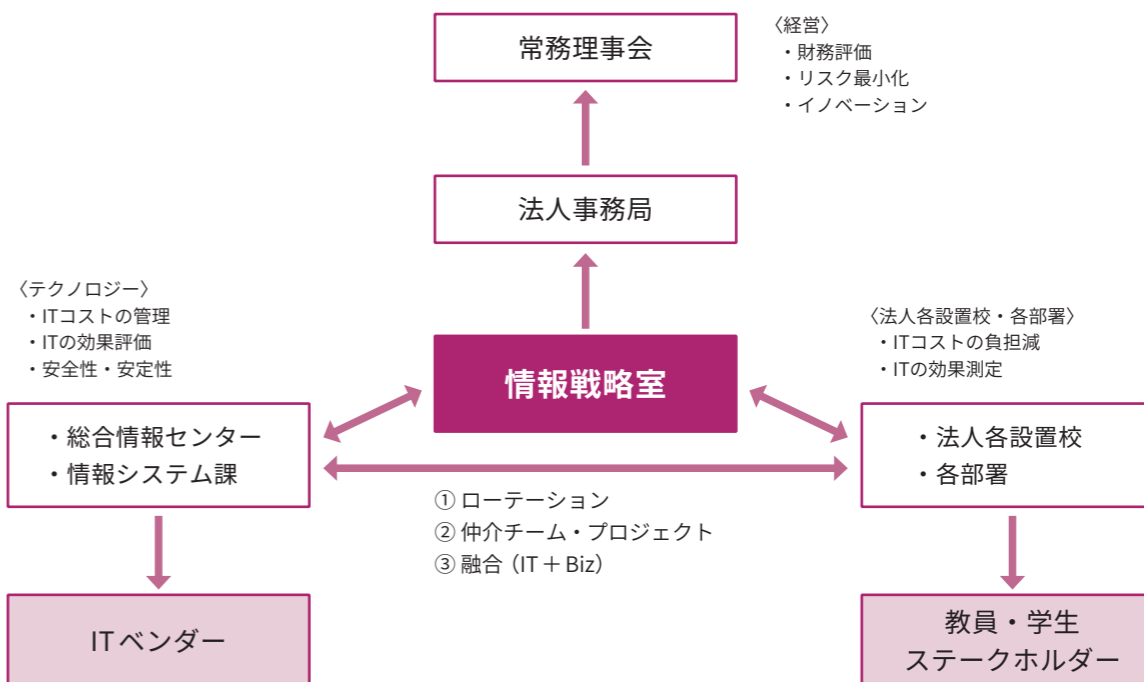
○情報公開

- ・知的財産を含む学内情報の戦略的公開
- ・対ステークホルダーに向けた新たな情報戦略の構築

○IR

- ・正確なデータの収集と分析
- ・法人内データの統制による利活用からの戦略的施策展開

2. 法人 DX 推進体制計画



3. 令和5年度の推進計画

| | |
|----------|--|
| ★組織 | ★情報戦略室設置と周辺組織の体制づくり・活動計画等策定 ★中期5ヵ年計画とDXのすり合わせと効果測定 ★総合情報センター構想 |
| 教育 | ・IT人材育成に係る体系的な情報教育の構築 ・新たな学生支援ツールの検討・導入に向けてのチーム編成 ・法人各設置校、学部ごとのICT教育、オンデマンド等活用 |
| 研究 | ・研究費管理システム・研究支援体制の構築 ・保有資料、知的財産のデジタル化と公開（所有証明等） ・研究状況把握⇒業績管理の強化と公的資金等獲得 |
| ★施設・学生生活 | ★現行インフラの更新計画策定 ★学生証移行と利便性向上施策の展開（デジタル証明書等） ・スマートキャンパス構想 |
| ★業務 | ★業務精査からの持続性、永続性担保と状況変化への対策 ・システム、ツールの把握と活用検討（含アウトソース） ★IT人材育成⇒体系的かつ継続的な講習と実践 |
| 情報公開 | ・データサイエンス人材育成⇒総合情報センター構想へ ・広報委員会との調整⇒情報公開の新たな展開検討 ・データベース統制と一元化準備⇒法人IRの実行と活用 |

★印は優先度の高い施策

随時
○効果測定
○トレンド把握
↓
中期5ヵ年計画を支援し、状況変化に対応しながら継続して取り組んでいく。

機動力・対応力を考慮し、法人各設置校を横断するチーム編成による施策立案・実行。